

農業後継者育成基金事業

平成 25 年度農業高校助成事業

事業主体名 鹿児島県立市来農芸高等学校

1 目的

農業関係機関・団体との連携を促進し、農業先進地視察や講演会を通して、広い視野と知識を身につけ、将来の農業後継者としてふさわしい人間を育成し、農村社会を支える人材の確保を目的とする。

2 実施状況

(1) 外部講師招聘による講演会

平成 25 年 11 月 12 日（火）県内で料理人として有名な「**椰木春幸**」氏に「料理人が伝える食育～活かせ地域の食材～」というテーマで講演をしていただいた。地元食材のすばらしさを例に、食の有り難さや命の大切さについて、料理人の視点から貴重な講話をいただいた。体験をもとにわかりやすく話ししていただき、生徒の心に届く講演会であった。



(株)樹楽 椰木春幸氏

(2) 2 年生先進地視察研修 H25.12.11 (水)

- ①弟子丸園芸で栽培している作物や施設の説明をいただきました。
- ②フクヤマ食品で取り扱っている商品やその製造工程について見学しました。
- ③薩摩きのご園の経営概況や施設について、説明をいただきました。
- ④内ファームでは、牛への給餌や搾乳、アイスクリーム作りなどの農業体験を行いました。



①優良農家(弟子丸園芸) ②フクヤマ食品(株) ③薩摩きのご園 ④優良農家(内ファーム)

(3) 1 年生先進地視察研修 H26.2.10(月)

- ①農業大学の学習内容や取得できる資格等について詳細に説明をいただきました。
- ②鹿児島中央家畜市場で子牛セリの様子を見学しました。
- ③都市農業センターの概要について説明をいただきました。
- ④セイカ食品で取り扱っている商品やその製造工程について見学しました。



①県立農業大学校 ②鹿児島中央家畜市場 ③都市農業センター ④セイカ食品 (株)

3 まとめ

本校は、在校生の約 9 割が非農家の生徒であるが、日頃の専門教科の学習や地域連携活動の成果もあり、入学してから農業に対して興味・関心が高まる生徒が多い。

今後も生徒のニーズを踏まえた専門性の高い学習を取り入れて、生徒の進路実現に資する研修としたい。